



関係者によるテープカット ー 大垣市大村地先

40年悲願、『揖斐川に大安大橋開通！』 発展誓い渡り初め

- 岐阜県が揖斐川中流部（揖斐川河口から約40Km地点）に建設してきた県道大垣江南線の「大安大橋」（大垣市大村～安八町西結）が完成し、2月18日（水）に開通式が行われた。

近隣には揖斐大橋（県道岐阜垂井線）があるが、朝晩を中心に慢性的な交通渋滞を引き起こしているため、県が2001年から、大安大橋を含む大垣市小泉町から安八町西結までの2.4キロ区間を117億円を投じて整備してきた。全長394メートル、幅員11メートル。片側一車線で、南側に幅3mの歩道がある。橋の名称は141件の一般公募から選ばれ、大垣市の「大」と安八町の「安」をとり、六曜で最も万事によいとされる吉日「大安（たいあん）」に因んで名付けられた。

午前10時から開かれた記念式典には、近隣住民や自治体関係者、来賓らが出席。古田肇・岐阜県知事は「大安大橋の開通によって交通渋滞の解消と、周辺地域へのアクセス向上が見込まれる。また、災害発生時の緊急輸送道路・緊急搬送においても極めて重要な役割を果たすことができる」と挨拶。関係者によるテープカットやくす玉開きなどで開通を祝った後、3世代家族を先頭に渡り初めを行い、一般参加者らも続いた。

同事業は継続され、今後、羽島市、愛知県一宮市を経て江南市へ繋げていく予定。



地元の親子3代を先頭に渡り初めをする関係者ら

■ 『交通安全を願い祈願祭！』

- 同日、午前8時30分より、同橋西詰（大垣市大村地内）で交通安全祈願祭を行い、関係者や地域住民ら約40人が出席した。祈願祭では、和田義則^{わだ よしのり}・大垣土木事務所長や細野貴司^{ほその たかし}・国土交通省揖斐川第二出張所長、近藤真澄^{こんどう ますみ}・大垣市建設部長、工事施工業者、地域住民の関係者らが玉串をささげ、開通後の交通安全を祈った。



玉串をささげ安全祈願する細野揖斐川第二出張所長

■ 『歓迎ムードに湧く地元！』 完成式典に150人



来賓として挨拶を述べる八鍬隆・中部地方整備局長

- 来賓として挨拶に立った八鍬隆^{やくわ たかし}・中部地方整備局長は「大安大橋は交通渋滞の解消に極めて有効で、将来、西濃地域から中濃、尾張地域を東西に結ぶ道路ネットワークの一角を形成するものである。この橋が地域間連携を促進させる起爆剤となり、地域の益々の発展と、安全・安心の確立に大きな役割を果たすことを期待する」と述べた。



■地元首長の喜びの声



住民らと一緒に渡り初めをした地元首長ら = 安八町西結地先
写真左から、堀・安八町長、小川・大垣市長、松井・羽島市長

【小川敏・大垣市長】

- 大安大橋の開通によって、現在、朝夕を中心に発生している交通渋滞が解消されることは大変喜ばしいこと。
この地域は、木曾三川で都市間が分断されているが、既に木曾川には「尾濃大橋」が架かり、今回、揖斐川に「大安大橋」が完成した。長良川にも早く架橋していただき、一気に通貫で西濃圏域と名古屋圏域を結び、地域が更に発展することを願う。

【堀正・安八町長】

- 安八町は、長良川と揖斐川の大河川に挟まれた地域で、昔は何処の地域へ行くにも渡し舟を利用していた。
幼少の頃、私は祖母から橋のない時代の苦労話を聞き、また、青年期に父から近い将来この地に新たな橋が架かり、広い道路が出来ると聞いた。そして、将来に明るい夢と希望を抱いていた。今日の記念すべき日は、私自身にとっても親子3代にわたる夢が実現したもので大変感慨深い。40年に亘る悲願の架橋は町民にとっても大変喜ばしいことである。



セレモニーに参加した安八町立ふたば保育園の園児ら

■施工業者が地域貢献活動

『上空から無人機で撮影！』



上空から撮影したテープカットの様子 = 大垣市大村地先



本橋及び周辺護岸工事の建設工事を請け負った、岐建（株）が地域貢献活動の一環で、自社所有のラジコンヘリコプターを飛ばし、空からセレモニーの開催状況を撮影した。

地上約15m上空に飛ぶ不思議な機体を見た参加者は「あれは何？」と不思議に思い、現地に居合わせた揖斐川第二出張所職員が解説する一幕があった。